



9～10か月児 健診用

子どもの事故はちょっとした気配りで防げます。
事故を防ぐためのポイントをまとめてみました。

1. タバコが入っているバックは赤ちゃんの手の届かない所に置きましょう。

赤ちゃんは探求心が旺盛で、大人が物を出し入れするバックが気になります。バックの中には、小銭や化粧品、薬など誤飲事故につながる物がたくさん入っています。バックの中に入っていれば大丈夫と思って、赤ちゃんの側に置いておいたため、目を離したすきにタバコをバックの中から出して食べてしまった事故が起きています。

タバコはいつも子どもの手の届かない所に置きましょう。



2. ボタン電池や硬貨、指輪などの小物は手の届かない所に片付けましょう。

赤ちゃんは何気なく床やテーブルの上に置いてある小物をつまんで口に入れてしまいます。赤ちゃんの口の大きさは最大32mmなので、これより小さなものは飲み込んでしまいます。

異物を飲み込んだ場合、普通48時間以内に便と一緒に排出されますが、心配な場合はかかりつけ医に相談しましょう。ボタン電池を飲み込んでしまった場合はすぐに病院を受診しましょう。部屋の中の小物は整理整頓しておき、自宅だけではなく、実家やよその家に出出した時も注意しましょう。



3. ピーナッツやあめ玉などは赤ちゃんの手の届かない所に置きましょう。

赤ちゃんの気管には物が入りやすく、この時期ピーナッツや枝豆などの豆類を与えるのは危険です。豆類は赤ちゃんの気管をふさいでしまう大きさなので、気管に入っているのに気がつかないと肺の炎症を起こしてしまいます。

ピーナッツは3歳を過ぎるまで与えるのをやめましょう。食べ物のかたさや大きさ、口の中に入れる量を考え、ゆっくり食べさせましょう。



4. ビニール袋は手の届かない所に片付けましょう。

シールやラップをはがして遊んでいて、飲み込んでのどに詰まらせり、ビニール袋を頭からかぶって、鼻や口をふさいでしまうなどの事故が起きているので、スーパーやコンビニ、クリーニングのビニールの袋には注意が必要です。また、歩けるようになると、壁にかけてある袋やひもに首をかけて窒息してしまう事故も起きているので、ビニール袋やラップは手の届かないところに収納し、おもちゃ代わりにして遊ばせないようにしましょう。



5. 階段や玄関など段差があるところには子どもが一人でいけないようにしておきましょう。

玄関によちよち歩いていって転落したり、階段をよつんばいで上がってしまい転落します。ちょっと目を離したすきに、思わぬところに移動するようになるので、転落の危険のある場所のドアには鍵をかけたり柵をつけて、一人ではいけないようにしておきましょう。



6. テーブルなど家具のとがった角には、コーナークッションなどでガードしましょう。

つかまり立ちや伝い歩きの頃は転倒がつきもので、転んだ先の家具や柱の角に、顔や口をぶつけて打撲したり切傷したりします。家具はなるべく丸みのあるものを選び、角にはクッションテープなどを取り付け、ぶつかったときの衝撃を和らげる工夫をしておきましょう。



7. 赤ちゃんの椅子は安定のよいものを使用しましょう。

椅子に座っているとき、テーブルを足でけた勢いで赤ちゃんが椅子ごと倒れたり、椅子によじ登って転落したり、ベビーカーやショッピングカートからいきなり立ち上がり転落してしまう事故があります。

子ども用の椅子は安定のよい倒れにくいものを選びましょう。ハイチェアやベビーカーに座らせたら必ず安全ベルトをしめ、乗り降りするときは大人が行うようにしましょう。



8. テーブルクロスは使用しない。

テーブルクロスをかけていると、赤ちゃんが食事中引っ張って、熱い食べ物や飲み物がこぼれてやけどをしてしまったり、つかまり立ちをするときに引っ張って、コップやお皿、ジャムのビンなどが落ちてきて打撲をしてしまいます。

子どものうちは、テーブルクロスの使用はやめましょう。



9. テーブルや棚の上にある食器や重いビン、缶などは赤ちゃんが自由に触れないようにしておきましょう。

テーブルの上に置いてあるコップを落として、割れた破片を踏んでしまったり、缶詰やジャムのビンを足に落としてしまったり、手の届く所にあるものに興味を持って触ったり、引っ張ったり、押ししたりすることより、外傷や打撲事故がみられます。

テーブルや棚の上にある食器や重いビン、缶などは自由に触れないようにしておきましょう。



10. ポットや炊飯器は赤ちゃんの手の届かない所に置きましょう。

赤ちゃんはつかまり立ちができるようになると、床に置いてあるポットにつかまりひっくり返ったり、電気コードを引っ張ってお湯をこぼしたり、炊飯器の蒸気の噴出し口に手や顔を近づけてやけどをしてしまう事故が多くあります。

ポットや炊飯器、熱いなべや食べ物は赤ちゃんの手の届かない所に置きましょう。

ポットにはロックをかけ、余分なコードは巻き取っておきましょう。

